

## 功 績 概 要

### 【芸術文化分野】 ヴォーカルアンサンブル《EST》 合唱団体

同団体は平成4年に本格的な室内合唱を目的として結成され、ルネサンス時代から現代までの作品を演奏し、コンサート活動を行う。国内においては『宝塚国際室内合唱コンクール』や『全日本合唱コンクール』などで多くの受賞歴を有し、県内においても平成13年には三銀ふるさと三重文化賞、平成17年には三重県文化大賞を受賞している。

また、海外のコンクールでも高い評価を得ており、近年ではイタリアで開催された『第63回国際ポリフォニックコンテスト・イン・アレツツォ』にて、3部門で1位を獲得している。

県内での活動としては平成5年より毎年定期コンサートを行う他、三重県合唱連盟の行事等にも参加している。この他にも県内の福祉施設や病院・小中学校への訪問演奏や、毎年春には高校生を対象としたコーラスワークショップに賛助出演し、若い合唱人達と一緒に歌う機会を大切にしている。

当団体のこうした活動は、本県における音楽文化の振興に寄与しており、果たしてきた功績は極めて大きい。

### 【芸術文化分野】 加藤子華 81歳 書家

同氏は書の専門家として常に旺盛な制作意欲を持ち、その作品は高く評価されている。平成22年には日展会員となるなど、芸術水準は全国レベルの高いものであると言える。

昭和59年に三重県文化奨励賞、平成7年に三銀ふるさと三重文化賞、平成26年には三重県文化賞文化大賞を受賞するなど数多くの受賞歴を有する。

また、「読売書法会」参事などを歴任する他、みえ県展や各市民展の審査員も務めている。

平成24年からは「三重県書道連盟」の顧問に就任している他、医療機関、小中学校、文化会館など多くの公共施設等に自身の作品を提供するなど書の発展や普及に貢献してきた。

さらに、同氏が主宰する書道団体「墨友会」は作品展を41回開催しており、次世代の育成にも尽力している。

このように、氏の50年を超える永きにわたる本県文化に対する貢献は多大であり、その功績は顕著である。